

## ◆初のチベット旅行から帰国 120 年◆ 堺市博物館企画展「河口慧海 仏教探究の旅」を開催します

堺市博物館では、堺出身の僧侶・河口慧海の旅と生涯を紹介する企画展「河口慧海 仏教探究の旅―チベットで求めたもの―」を開催します。

河口慧海（慶応 2 年/1866～昭和 20 年/1945）は仏教の原典を求めて日本人で初めてネパールからヒマラヤ山脈を越え、当時厳重な鎖国下にあったチベットへ入りました。帰国後出版された『西藏（チベット）旅行記』は各方面から注目を集め、日本での出版から 3 年後には英訳本が出されるなど、慧海の名を世界に知らしめました。

今年は明治 36 年（1903）に慧海が第 1 回チベット旅行から日本に帰国して 120 年にあたります。本展では関係者の子孫のもとに遺された資料を中心に、仏教探究に生涯をささげた河口慧海とその活動についてご紹介します。

1 展覧会名 企画展「河口慧海 仏教探究の旅―チベットで求めたもの―」

2 会 期 令和 5 年 9 月 2 日（土）～10 月 15 日（日）

開館時間：午前 9 時 30 分～午後 5 時 15 分（入館は午後 4 時 30 分まで）

休 館 日：月曜日（9 月 18 日、10 月 9 日は開館）

3 場 所 堺市博物館 1 階展示場内（堺市堺区百舌鳥夕雲町 2 丁 大仙公園内）

交 通：JR 阪和線「百舌鳥駅」下車 西へ約 500m

南海バス「堺市博物館前」下車 南へ約 280m

4 観 覧 料 一般 200 円（160 円） / 高校・大学生 100 円（70 円） / 小・中学生 50 円（30 円）

※（ ）内は、20 人以上の団体料金

※堺市在住・在学の小中学生は無料

※堺市在住の 65 歳以上の方、障害のある方は無料（要証明書）

5 展示構成と主な展示品（予定、\*は当館蔵、他は個人蔵）

第 1 章 河口慧海の『西藏旅行記』―第 1 回インド・ネパール・チベット旅行―

（展示品）『西藏旅行記』初版本、各国語訳の『チベット旅行記』、「西藏旅行絵巻」、慧海自筆日記

第 2 章 慧海、ふたたびチベットへ―第 2 回インド・ネパール・チベット旅行―

（展示品）慧海所用のトランク、インドでの学習に使用したノート

第 3 章 慧海の活動を支えた堺・大阪の人びと

（展示品）肥下徳十郎宛書簡、慧海のパスポート、鉱物標本

## 第4章 チベット旅行後の慧海

(展示品) 慧海所用の蔵英辞典、西藏文典翻訳のための単語カード、サムイェー寺の護符\*

### 6 関連イベント

#### ① 講演会「河口慧海 仏教探究の旅」

講師：奥山直司氏（高野山大学名誉教授・本展学術協力者）

日時：令和5年9月17日（日）午後2時～午後3時30分

参加：無料

定員：70名（当日先着順、正午より整理券を配布）

会場：博物館ホール



慧海所用の蔵英辞典（個人蔵）

#### ② 学芸講座

講師：当館学芸員

日時：令和5年10月7日（土）午後2時～午後3時30分

参加：無料（要観覧料）

定員：70名（当日先着順）

会場：博物館ホールおよび展示場・企画展コーナー

#### ③ 展示解説

日時：令和5年9月10日（日）、9月16日（土）各日午後2時から（約45分）

参加：無料（要観覧料）

定員：20名（当日先着順）

会場：博物館展示場・企画展コーナー

#### ④ 学術シンポジウム「河口慧海関係資料のデジタル化と公開に向けて」

日時：令和5年9月24日（日）午後1時30分～午後4時

主催：科学研究費助成事業「基盤研究（C）河口慧海関係資料の総合的研究」研究グループ

（研究代表者：奥山直司氏〈高野山大学名誉教授・本展学術協力者〉）

問い合わせ先	担当課：文化観光局 歴史遺産活用部 博物館 学芸課 電話：072-245-6201 ファックス：072-245-6263
--------	--

企画展

# 河口慧海 仏教探究の旅

チベットで求めたもの！

## KAWAGUCHI EKAI's Journey of Buddhist Exploration

:What He Sought in Tibet

2023.9.2 sat - 10.15 sun

開館時間：9時30分～17時15分（入館は16時30分まで）

休館日：月曜日（ただし9月18日、10月9日は開館）

観覧料：一般 200円（160円）

高校・大学生 100円（70円）

小・中学生 50円（30円）

\*（ ）内は20名以上の団体料金

\*堺市在住の65歳以上の方、障害のある方は無料（要証明書）

\*堺市在住・在学の小・中学生は無料

### 堺市博物館

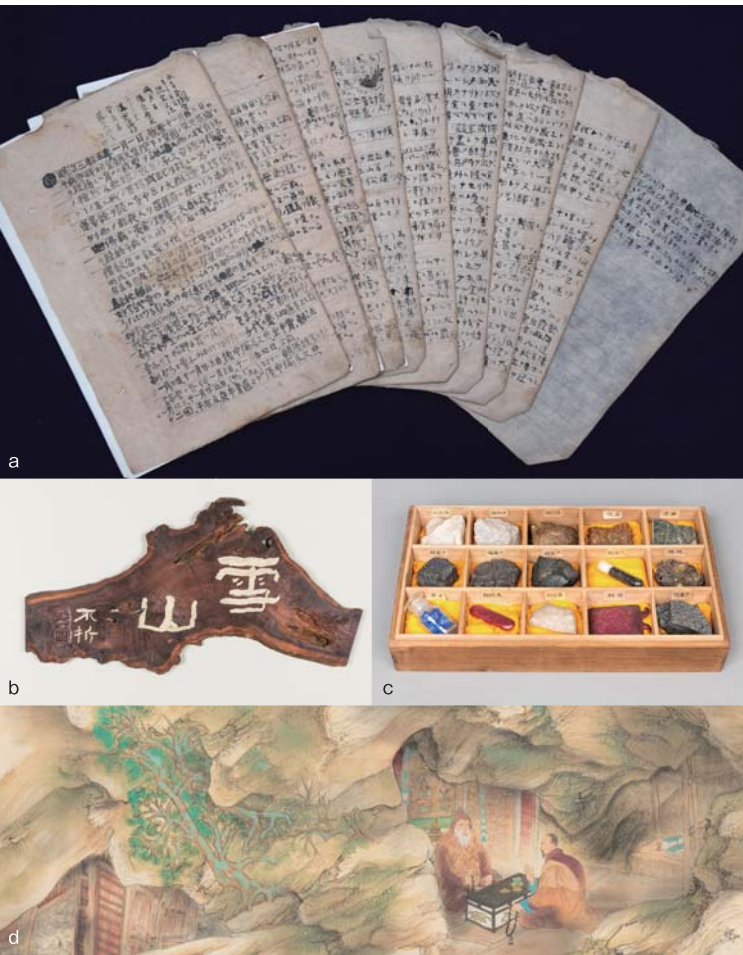
SAKAI CITY MUSEUM



給孤獨  
死被死  
精舎

チベットをめぐって

佛教日課  
心清淨・此處を道場と  
作遊年尼佛を請したる  
轍梅



# 企画展 河口慧海

## 「チベットで求めたもの」

### 仏教探究の旅

KAWAGUCHI EKAI's  
Journey of Buddhist  
Exploration

:What He Sought in Tibet

河口慧海(1866~1945、現在の堺市堺区出身)は仏教の原典を求めて日本人で初めてネパールからヒマラヤ山脈を越え、当時厳重な鎖国下にあったチベットへ入りました。帰国後に出版された『西藏旅行記』は、仏教を究めるためという一途な目標のもと、策を巡らせ数々の困難を突破していく様が活き活きと描写され、痛快な冒険譚として人びとを魅了しつづけています。

今年(明治36年(1903))に慧海が第一回チベット旅行から日本に帰国して120年にあたります。本展では関係者の子孫のもとに遺された資料を中心に、仏教探究に生涯をささげた河口慧海とその活動についてご紹介いたします。

#### 【関連イベント】

#### 講演会：「河口慧海 仏教探究の旅」

講師：奥山直司氏(高野山大学名誉教授・本展学術協力者)  
日時：9月17日(日)14時~15時30分 参加：無料  
定員：70名(当日先着順) ※当日12時より博物館ホール前にて整理券を配布します  
会場：博物館ホール

#### 学芸講座

講師：当館学芸員  
日時：10月7日(土)14時~15時30分  
参加：無料(要観覧料) 定員：70名(当日先着順)  
会場：博物館ホールおよび展示場・企画展コーナー

#### 展示解説

日時：9月10日(日)、9月16日(土) 各日14時~(約45分)  
参加：無料(要観覧料) 定員：20名(当日先着順)  
会場：展示場・企画展コーナー

#### 学術シンポジウム「河口慧海関係資料のデジタル化と公開に向けて」

日時：9月24日(日)13時30分~16時 ※詳細は当館ホームページをご覧ください。  
主催：科学研究費助成事業「基盤研究(C)河口慧海関係資料の総合的研究」研究グループ(研究代表者：奥山直司氏<高野山大学名誉教授・本展学術協力者>)



河口慧海所用のトランク



サムイェー寺の護符\*



a. 河口慧海の明治35年(1902)の日記  
b. 中村不折筆「雪山」扁額 c. 鉱物標本  
d. 『西藏旅行絵巻』第2巻(部分)  
e. 右から河口慧海、井上円了、大宮孝淵  
(明治35年(1902)、インド・カルカッタにて撮影)

#### 【表面】

[河口慧海写真] 左：『西藏旅行記』より転載・明治35年(1902)チベット脱出後インドにて撮影/右：大正時代頃・坐禅修行中の姿

[資料写真] 上から時計回りに：絵葉書「給孤独苑菴精舎」/写真「ネパールの母子」/サムイェー寺の護符\*/仏教日課(部分)\*/絵葉書「インド・ダーズリンから見たエベレスト」/同「ダーズリン・ヒマラヤン鉄道」/『西藏旅行絵巻』第3巻(部分)\*/同「ケンチン・ゼンガ雪峯の夕景」/『西藏旅行絵巻』第2巻(部分)\*/河口慧海所用の蔵英辞典

\*は当館蔵、ほかは個人蔵

堺市博物館  
公式キャラクター  
サカイタケルくん  
© YABUUCHI Satoshi

堺市博物館  
SAKAI CITY MUSEUM

次回予告 特別展「都市の祈りー住吉祭と堺ー」  
会期：2023年11月3日(金・祝)~12月17日(日)

#### MAP



#### 【交通案内】

電 車：JR 阪和線「百舌鳥」駅下車 約500m  
バ ス：南海高野線「堺東」駅から  
南海バス(140系統で約10分)  
バス停「堺市博物館前」下車 約280m  
駐 車 場：大仙公園第3駐車場  
(仁徳天皇陵古墳東南・有料)  
駐 輪 場：堺市博物館出口側にあり(利用無料)

〒590-0802  
堺市堺区百舌鳥夕雲町2丁 大仙公園内  
TEL 072-245-6201 FAX 072-245-6263  
HP <https://www.city.sakai.lg.jp/kanko/hakubutsukan/>  
Facebook <https://www.facebook.com/sakaishihaku/>

